

会社概要

本社所在地 …… 京都市東山区一橋野本町11番地の1
創 立 …… 1949年11月
資 本 金 …… 130億5,100万円
従 業 員 数 …… 2,078名(2019年3月31日現在)
売 上 高 …… 1,616億円(2019年3月)
事 業 所 …… 【本社】京都
【研究所】本社研究所(京都市東山区)、桂研究所(京都市西京区)
【支社】東京、大阪
【営業所】名古屋、中国(広島市)、西日本(福岡市)
【工場】名古屋(東海市)、衣浦(半田市)、鹿島(神栖市)、京都

採用後の待遇

初 任 給 …… 266,300円(修士了、24歳の場合)
(諸手当を除く) 236,100円(学部卒、22歳の場合)
204,300円(高専本科卒、20歳の場合)
諸 手 当 …… 通勤手当、時間外手当、配偶者・扶養家族手当、特別食事手当(勤務地による) など
昇 給 …… 年1回(4月)
賞 与 …… 年2回(6、12月)
休 日 休 暇 …… 完全週休2日制、年間休日129日(過去実績)、年次有給休暇(初年度14日)、リフレッシュ休暇、
メモリアル休暇、育児・介護・看護休業制度 など
福 利 厚 生 …… 保険/健(健康保険組合)・厚・雁・労、法定外労災補償 など
(待遇・社内制度) 施設/寮・社宅、社員食堂
制度/総合住宅、退職年金、住宅積立、年金積立、従業員持株会、福祉会(共済)、永年勤続表彰旅行制度 など
勤 務 地 …… 京都、東京、大阪、愛知、茨城、その他当社事業所
勤 務 時 間 …… 実働7時間45分(フレックスタイム制度あり)
教 育 研 修 …… 新入社員教育、工場研修(研究、営業、コーポレート配属対象)、昇進・昇格者研修、公募型ヒューマンスキル研修、
海外留学・海外研修制度、語学研修 など

募集要項

募 集 職 種 …… 技術系総合職(研究開発、プロセス・設備エンジニア、製造・運転管理 ほか)
事務系総合職(営業、経理、法務、人事、情報システム ほか)
仕 事 内 容 …… ■技術系総合職
【研究開発】新製品の開発や既存製品の改良 など
【プロセス・設備エンジニア】生産プロセスの開発、生産設備設計 など
【製造・運転管理】製品の製造、品質管理 など
■事務系総合職
【営業】提案型の製品販売、マーケティング、購買 など
【経理】全社コストの管理、コスト戦略策定 など
【法務】各種契約のチェック、管理、コンプライアンスの強化 など
【人事】採用戦略の策定、従業員の育成、人事制度の策定 など
【情報システム】システムの全社統括、最新IT技術の導入 など
募 集 人 数 …… ■技術系総合職:50名程度
■事務系総合職:5名程度
募 集 学 部 …… 化学、電気化学、生化学、化学工学、薬学、物理、機械、電気、電子、情報工学、経済、商、法 など
(募集学科)



未知に挑め。

CHALLENGE to the FUTURE



〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11番地の1
Tel.075-541-4322
URL:<https://www.sanyo-chemical.co.jp> E-mail:recruit@sanyo-chemical.group

“はたらき”を化学する

化学で答えを出せる

全ての可能性にチャレンジし続ける

「もっときれいに」「もっと安全に」「もっと地球に優しく」…。

人々の「もっと」を願う気持ちがあったから、

社会は進歩し、産業は発展してきました。

三洋化成工業は、1949年の創業以来、

社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」を理念に、

この「もっと…」をパフォーマンス・ケミカルズという

機能化学品に変えて届けてきました。

社会のあらゆるニーズに応えるために、

培った技術に新たな技術を融合させて

いろいろな「はたらき」を化学し、独創的な製品を市場に提供する一。

三洋化成工業の挑戦には終わりがありません。

今後も独自の経営システムである

「人」中心の経営」を深化させながら

「グローバルに、ユニークな優良企業グループ」を目指します。

ともに、失敗を恐れることなく、挑戦していきましょう。

製品数は約 3,000 種類

社会とあらゆる暮らしの中に

三洋化成工業のパフォーマンス・ケミカルズは、人々が必要とする「機能を発揮する化学品」です。全社員の約30%、売上高の約5%を研究開発にあてるなどして、独創的な開発に注力。長年にわたって多様な「もっと…」の気持ちに応え続けてきた結果、現在の製品数は約3,000種類にのびます。

生活・健康産業、石油・輸送機産業、プラスチック・繊維産業、情報・電気電子産業、環境・住宅設備産業など、社会や暮らしのあらゆるところで、当社の製品が役立っています。また近年はエネルギー・エレクトロニクス分野やバイオメディカル分野での新規開発にも積極的に取り組んでいます。

未知に

挑め。

Performance × Chemicals

01
パフォーマンス
ケミカルズ

「パフォーマンス・ケミカルズ」とは、「はたらき」が問われる化学品のこと。例えば、互いに相容れない水と油をなじませ白っぽく「乳化」させる、透明になるまで「可溶化」させることが、「はたらき」です。洗剤ならば「しっかり汚れを落とし、すぎは簡単に」といったニーズに応える「はたらき」を実現しています。

Needs × Seeds

02
ニーズ

三洋化成工業の研究開発の特徴は「ニーズ指向」です。これは独自の用語で、あるニーズに対して開発した技術に別の技術を融合させ、これをシーズ(種)にして、さらに新しい別のニーズに対応する製品を開発する。これを連鎖的に行っていくことで、異分野の技術を融合し、オリジナリティーの高い新ジャンルの製品群の開発を可能にしています。

Global × Innovation

03
グローバル
イノベーション

従来のやり方にとらわれず、常に新しい発想でグローバルなお客様のニーズに応じていく。三洋化成工業は、「グローバル化とイノベーション」をキーワードに、持続的に発展していくことを目指しています。海外留学、海外研修、語学研修など、グローバル人材育成のための制度も充実させています。

Vision × Challenge

04
有言実行

三洋化成工業の「人」中心の経営は、従業員一人ひとりが会社とともに成長し、働きがいや幸せを実現するために、自ら会社の制度や手段を使って課題にチャレンジすることを促進する経営システムです。自ら「やりたい」ことを公言し、実行できる独自の制度「チャレンジ契約」や「パーソナル研究チャレンジ」などを設け、チャレンジスピリットを育てています。

Work × Life

05
クリエイティブ

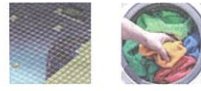
さらなる生産性向上を目指して、さまざまな働き方の見直しを進めています。女性をはじめ多様な人材の活躍を推進するため、制度面では、フレックスタイム制や時間単位有給休暇制度を導入。京都府内で働き方改革に取り組むベストプラクティス企業第1号にも認定されています。プライベートも充実させ、仕事も人生もクリエイト(創造)してください!



CHALLENGE THE MISSION MISSION MISSION

Outline

化学物質が組み合わせり、社会に役立つパフォーマンス・ケミカルが生まれるように、仕事も1人で完結することはない。いろいろな部署の社員たちが、それぞれの使命を果たそうと奮闘し関わりあうことで、新たな“化学反応”が生まれていく。



2

MISSION STORY
Interview with
HARUNA MASUNO



●● Key Person.2 Haruna Masuno

想定外の事態に「頭が真っ白になった」。

柗野が入社以来携わっているのは、自動車用シートや断熱材などに使われるウレタンフォームの原料開発だ。入社1年目から携わった高難燃性硬質ウレタンフォーム用原料は、初めて商品化できた思い出のある製品。しかし、その量産化段階で想定外の事態が起こった。「振り返っても痛い経験でした」三洋化成工業では市場ニーズのある難燃性の高い製品の開発を続けてきたが、組成の最適化と量産の両立が実現せず、製品化には至っていなかった。柗野が開発に就いたのは、その製品化の終盤。ラボでの実験

や試作は順調で、顧客先での評価も上々。量産化を残すのみとなった段階だった。生産条件の設定も済み、製品を生産する工場からの朗報を待たばかり。と、そこに工場の生産担当者から1本の電話がかかってきた。「柗野さん、真っ黒なものができあがったのですが…」試作では問題なかったのに、なぜ？これではお客様が同じ製品と納得してくれないだろう…。頭の中が真っ白になった。



“仕事でワクワクし続けられる”
というのが、やりがいなのかも。

それぞれの使命に挑戦する現場のドラマ!

●● Key Person.1 Ryo Uematsu

待っていたのは、成長市場で高シェア獲得をかけて挑む、激しい戦い。

三洋化成工業が40年前に世界で初めて商業生産を開始したSAP(高吸水性樹脂)は、主に紙おむつに使われる当社を代表する製品のひとつだ。営業の植松が数カ月前に異動したSDPグローバルは、新興諸国における紙

おむつの需要拡大を見据え、SAPのグローバル化を加速するために生まれた合弁会社だ。予期せぬ異動に当初は戸惑いもあったが、植松にとってはグローバルなキャリアを積めるチャンスであった。日系ユーザーの担当となり、実感したのは日系おむつメーカーのグローバルな志向と技術力の高さだ。想像以上に広いマーケティング力と深い技術知識が求められる製品で、提案用に渡された社内データの詳細さに、多様化する市場

ニーズに対応する難しさを感じた。ユーザーへの提案内容を研究部に相談してサンプルを提供し、評価してもらう日々。まだ大きな成果は出ていないが、手応えを得ている新規案件がある。丁寧な対応に努めてきた結果、ゴールが見えてきた。「この案件は自分が決める!」グローバルな活躍を夢見て、今は目の前の目標に向かって邁進する日々だ。

“この案件は自分が決める!”



MISSION STORY
Interview with
RYO UEMATSU

1

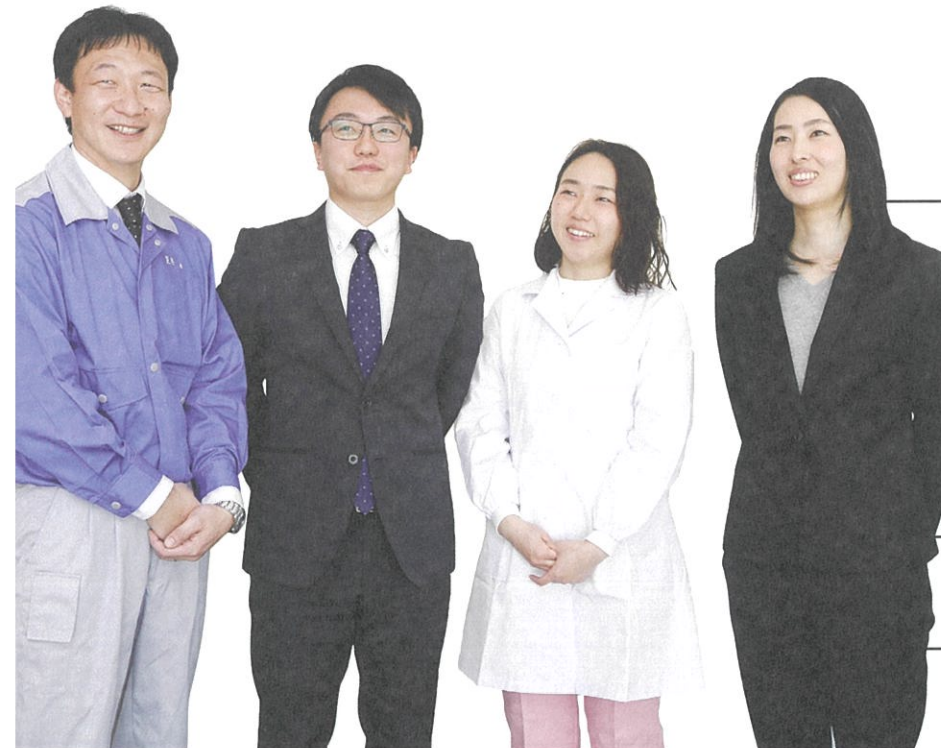
> 登場人物紹介[左から] Profile

●● 望月孝通 Takamichi Mochizuki | 2001年入社
生産本部

●● 植松 諒 Ryo Uematsu | 2014年入社
SDPグローバル株式会社 営業本部 第一営業部

●● 柗野晴菜 Haruna Masuno | 2013年入社
事業研究第一本部 ウレタン原料研究部

●● 横江侑未 Yuumi Yokoe | 2007年入社
事務本部 法務部



営業

既存顧客に対するルートセールスと新規開拓を担当。いずれも、お客様とのコミュニケーションから潜在的なニーズをくみ取り、研究開発と協力しながら、ニーズに応える新製品開発のきっかけづくりを担います。

研究開発

営業から得た要件をもとにした新製品の開発や既存製品の改良のほか、市場ニーズや社会情勢などを見越し、将来の製品化につながる研究開発を行います。大学や公的機関との共同研究も積極的に進めています。

生産 生産技術

生産は、製品の安全・安定かつ効率的な生産に取り組んでいます。生産技術は、生産プロセスの開発、生産設備の設計・保守、改善などを担い、生産や他部署と協力し、常に生産革新にチャレンジしています。

コーポレート

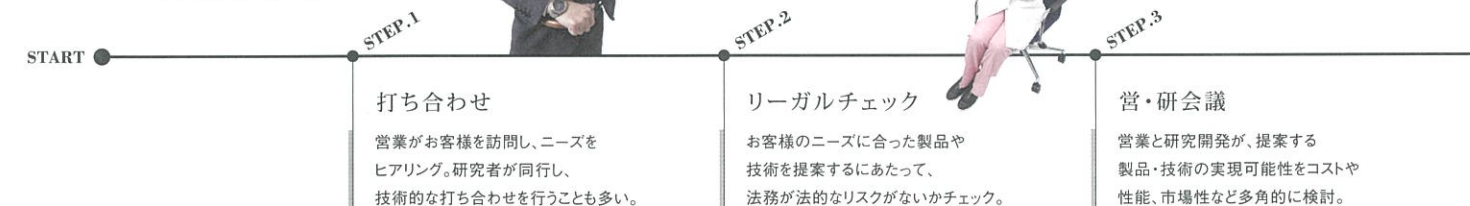
人事、法務、総務、財務、経理、広報など、専門的な業務に分かれ、各事業をサポートしています。戦略を実現するため、会社の資源を管理・運営し、組織全体の業務を円滑に進める役割を担っています。

●● Key Person.2 Haruna Masuno

道筋をゼロから描き、形にしていく面白さ。

無駄になった製品は10トン。ドラム缶にして50本分にもなったが、「失敗は成功のもと」と柗野を責める者は誰もいなかった。ラボと工場では、試生産とはいえ量の桁が違う。原因究明の結果、工場設備のスケールに合わせた生産条件設定が不十分だったことが判明した。生産担当者との打ち合わせを重ねて生産条件を再設定し、課題は何とかクリア。痛い失敗はあったが、それを乗り越えた製品は、2015年に「ノンフレボール」という商品名で発売され、建築材料用断熱材用途での採用が広がっている。その後、柗野は断熱材の原料全般について開発を任せられるようになった。現在手がけているのは、次世代発泡剤用のウレタンフォーム用原料だ。ウレタンフォームを作る際に使われる発泡剤の環境規制への対応が進む中、「新たな製品を独自技術で作りたい」と、自身の発案で始まった開発だ。「ゼロからアイデアを提案してモノを作り、お客様への紹介まで自分発でできることに、大きなやりがいを感じています」自分が思い浮べる道筋に向けて、どう開発し、製品化していこうか…。考えるだけで、ワクワクが止まらない。

1つの製品が商品化されるまで





● ● Key Person.3 Takamichi Mochizuki

各部署の知恵を結集して、課題を解決。

望月の仕事は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズとして、三洋化成工業が開発した「TUB」の新製品を安定生産にこぎつけることだ。粉体状の「TUB」は高い意匠性を特徴とし、軽量で省エネ性にも優れた素材。2000年に国内自動車メーカーの高級車に採用されて以来、海外でも需要が拡大している。商品は完成して納品すれば終わりではなく、生産工程で問題が生じれば改善する必要がある。また、生産性や品質の向上に向けた、たゆまぬ生産革新が求められる。生産現場で起こる課題の解決や目指すゴールの実現に対し、研究や生産、生産技術などからメンバーが集まって、一定期間集中的に取り組むプロジェクト。望月はそのプロジェクトに所属している。「できるだけコストをかけず、知恵と工夫で課題を解決することが、我々のミッションです」社内には他にもさまざまなプロジェクトがあり、各部署の知恵を結集した活動が行われている。

“不可能を可能に”

3

● ● Key Person.3 Takamichi Mochizuki

「設備に勝利した実感」がたまらない。

改善のスタートは、設備故障などのトラブルであることが多い。まずは現地で事象を確認し、次に研究部と協力し収集したデータの値を解析し、理論的に解決策を探っていく。エンジニアリング、工務など設備のプロからの助言も欠かせない。思うように改善できない場合も多いが、望月には「あきらめなければ、いつか成功する」という経験から導かれた信念がある。現場オペレーターから、原料の計量精度を改善してほしいと要望があったときのこと。既存の自動計量器では、その原料を数グラム単位の誤差で計るのは難しかった。しかし計量器メーカーとの議論を重ねて計量器を改良し、精度の高い自動計量を実現。オペレーターに「本当に楽になった」と満面の笑みで喜ばれたときのことは忘れられない。ある生産工程では、慢性的に配管詰まりが発生していた。現場に張り付き、配管・機器と格闘し続けること数年。完全に解決できたときは、「設備に勝利したような喜び」を感じた。そんな望月たちの目の下目標は、新製品の安定生産だ。「お客様の需要に、タイムリーに 대응して、当社を代表する製品へ育てていきたい」終わることのない生産革新への挑戦は続く。



MISSION STORY
Interview with
TAKAMICHI MOCHIZUKI

“あきらめなければ、必ず打開できる”という自信があったんです。

STEP.4

研究テーマ化

どんな技術を使って、製品を開発するのか。製品化までのストーリーを描き、開発スタートの承認を得る。

STEP.5

開発・検討

ラボにおける開発・検討。各種実験や分析機器を使ったデータ取り、サンプル評価などを行う。

STEP.6

サンプル作成

求められている性能が出たところで、ラボスケールでサンプル(試作品)を作成する。

STEP.7

ユーザー評価

秘密保持契約を結んだうえで、試作したサンプルの性能をお客様に評価してもらう。

STEP.8

スケールアップ検討

評価に合格すれば、量産化に向けた生産条件の検討へ。研究と生産技術が協力し試生産を行い、品質を確認。

STEP.9

生産

製品販売に向け、工場での本格生産がスタート。安定生産に入るまで気が抜けない。

STEP.10

品質確認・納品

生産した製品の品質を出荷前に再確認し、お客様のもとへ出荷・納品する。

STEP.11

生産革新

製品納品後も、コスト削減や生産性・品質の向上をめざした生産革新が続けられていく。

“困ったときに頼りになる知恵袋的な存在になりたい”

4

● ● Key Person.4 Yuumi Yokoe

最大の付加価値は、提案にあり。

開発中の試作品を取引先に評価してもらう際の「秘密保持契約」、他社や大学との「共同開発契約」といった企業活動に必ず付いて回る契約書の立案・審査が横江の主な業務だ。営業や研究との相談から始まり、どんなビジネスを実現したいかという想いをくみ取り、それを実現する上で、自社のリスクを最小化し利益を最大化した契約案文を提案・作成していく。肝に銘じているのは、「意見の提言を恐れない」こと。「言われた通りに文章を作成するだけなら、ただの御用聞きです。私たちが提供する付加価値は“提案”にあります」未知な分野への挑戦や前向きな話であっても、リスクが潜んでいれば、時にブレーキを踏み、方向転換を促すことも役割だからだ。契約締結まで至らないときもあるが、「相談して良かった」「頭の中が整理できた」といった言葉もらったときに、一番やりがいを感じるという。



MISSION STORY
Interview with
YUUMI YOKOE



● ● Key Person.4 Yuumi Yokoe

グローバル化という次なるチャレンジへ。

担当することが多くなってきたのが、三洋化成工業が新規事業として注力しているバイオメディカル分野の案件だ。自社のウレタン技術を応用した初めての医療機器の販売にあたっては、営業と打ち合わせを重ね、販売パートナーと権利関係を整理していった。医療機器関係の法律の確認や病院とかかわる契約書の作成など、横江にとっても初めてのことであったが、何とか乗り切った。研究が長年かかって製品を開発し、その製品を営業がお客様に提案する。そうして事業を形にしていくプロセスのサポートが、横江の仕事。携わった製品が無事に販売されたときは、責任を果たした安堵に包まれた。初めての仕事で関わった営業担当者から、最近、新たな案件提案の声がかかった。「今度、製品を海外でも販売しようと考えている。相談に乗ってもらえないか」医療機器に関して各国にどんな法令や規制があるのか、情報収集はこれから。しかし、再び頼ってもらえることは信頼の証。「期待に応えるためにも、チャレンジ精神を忘れず、困ったときに頼りになる知恵袋的な存在になりたい」会社のグローバル化とともに、知識や経験が広がっていくことが楽しみだ。



＼ 社員に聞きました /

三洋化成工業のオススメポイント

経営が安定していて、新しいことへの挑戦に積極的。

およそ70年という歴史はありながらも力強い推進力を感じる風があります。

風通しがよく、若手の意見もよく聞いてくれます。自部署の上司だけでなく、研究・営業など他部署の方や社長に提案できる制度もあります。

自ら主体的に行動することを「よし」とする社風で、パーソナル研究チャレンジなど、手を挙げれば自分のやりたいことを仕事にできます。

研究所の立地が良いところ！海外との取引も多く、世界規模の仕事ができます。

幅広い製品開発体制と、それを支える高い技術力があります。さまざまな知識に触れてその知識を得ることで自己成長につながっていると思います。

住宅制度を含め、福利厚生が充実。またワークライフバランスを考えた多様な働き方を推進。仕事もプライベートも充実するから頑張れます。